

(3) 広島港から高速ICまでの時間

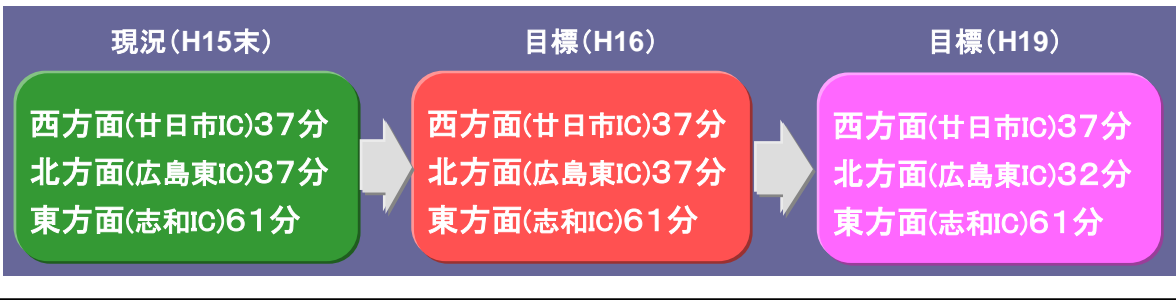


● アウトカム指標の位置づけ

広島港は中四国における唯一の中核国際港湾^{※5)}で、コンテナ貨物輸送の競争力を強化するため、広島港から高速ICまでの所要時間(神戸港と同水準の約20分)を、アクセス改善のための指標として採用しました。

● 現況値と目標値

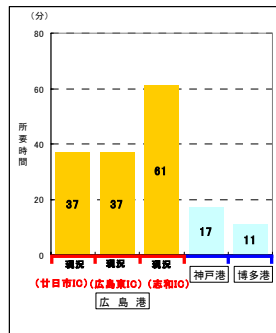
広島港から高速ICまでの時間



● 現況把握

広島港から高速ICまでの所要時間は、廿日市ICへ37分、広島東ICへ37分、志和ICへ61分であり、神戸港の17分、博多港の11分と比較して極めて低い水準といえます。

図3-1 広島港から高速ICまでのアクセス時間(現況)



◇現況 高速アクセス経路
西方面: 広島港~廿日市IC
北方面: 広島港~広島東IC
東方面: 広島港~志和IC

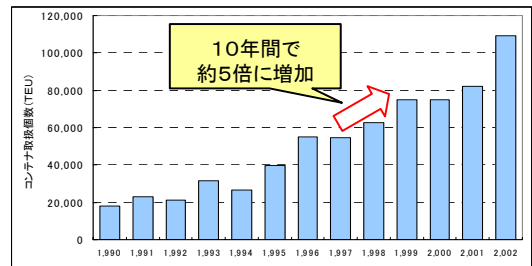
注1) 高速アクセスルートは20フィートコンテナ積載車両^{※6)}の通行可能路線、現況所要時間は2003道路時刻表の旅行速度、将来は規制速度により算出。



注3) 高規格幹線道路及び広島高速道路は、20フィートコンテナ通行可能。
図3-3 広島港から高速ICまでの20フィートコンテナ通行可能路線

広島港は、中四国における唯一の中核国際港湾で、新しい全国総合開発計画でグローバルゲート^{※7)}として位置づけられています。また外資コンテナ取扱個数が増加傾向であることから、国際的な拠点として成長し続けている港といえます。

図3-2 広島港外資コンテナ取扱個数(TEU)



注2) TEU: 20フィートコンテナ換算
資料: 広島県広島港湾・空港整備事務所

(3) 広島港から高速ICまでの時間



● 課題と要因分析（広島港の機能）

広島港から高速ICまでのアクセス経路は、ISO規格のコンテナ貨物^{※8)}に対応したアクセスルートが限定されており、他の自動車交通と混在して一般道を走行しているため、他の重要港湾に比較して所要時間が長くなっています。

広島港を中心とする臨海部には、産業・物流ゾーンが立地しており、高速ICとの連絡を強化することで、コンテナ貨物やその他貨物の輸送力強化が必要と考えられます。



図3-4 広島港の鳥瞰写真

● 施策の選定

広島港は、中四国における唯一の中核国際港湾であり、国際物流の地域間競争力（対神戸港）を確保するため、広島港と高速ICを連絡する路線の整備により、ISO規格のコンテナ貨物（20フィートコンテナ）に対応した高速アクセスルートを確認します。平成19年には広島高速1号線の全線供用により、山陽自動車道とネットワーク化され、広島東ICまでのアクセスが約5分短縮されます。

広島港から山陽自動車道ICへの高速アクセスルートを確認する

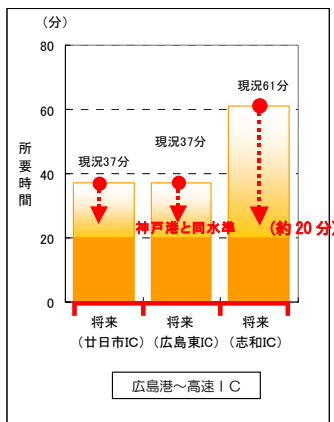


図3-5 広島港～高速ICまでの所要時間目標



図3-6 広島港～高速ICまでのアクセス経路

注1) 高速アクセスルートは20フィートコンテナ積載車両の通行可能路線、現況所要時間は2003道路時刻表の旅行速度、将来は規制速度により算出。

概ね10～15年後：
 西方面(廿日市IC) 13分
 北方面(広島東IC) 16分
 東方面(志和IC) 25分

● 平成16年度の取り組み

平成16年度も、広島港と高速ICを連絡する東広島・安芸バイパス、広島高速1号線、2号線、3号線、広島南道路や西広島バイパスの早期供用に向け事業を推進します。